



海のふしぎを知ろう

学習のねらい

与論島は海に囲まれた島で、海は子供たちにとって身近な自然そのものです。「そもそも海ってどんなところ？」という切り口から、海に関する「ふしぎ」について学び、海についての理解を深めます。

実施日：令和2年9月8日（火）

5・6校時

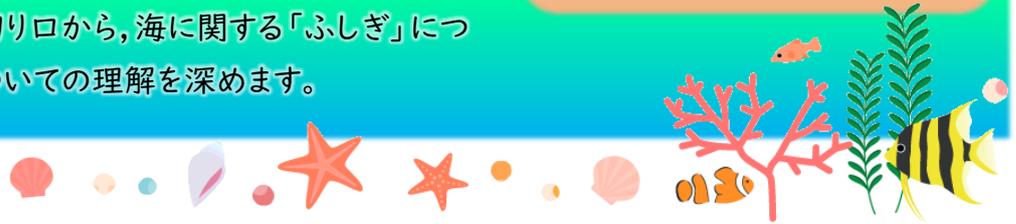
実施校：与論町立那間小学校

対象：4年生児童10名

指導者

T1 池田 香菜 さん
(NPO 法人海の再生ネットワークよろん)

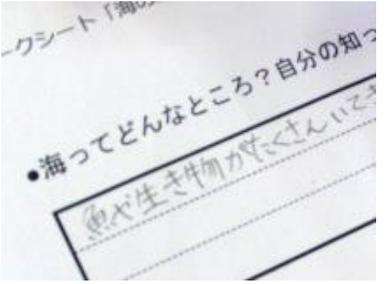
T2 海老原 仁 先生

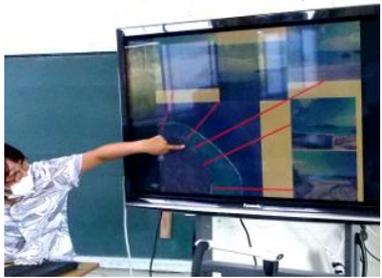
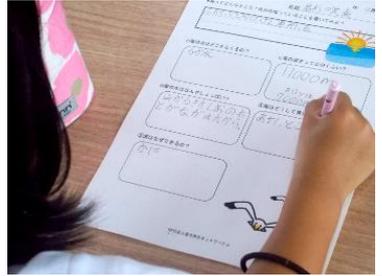


本授業における「海と人との共生」のための視点

- 海に親しむ
- 海を知る
- 海を守る
- 海を利用する

授業の実際

学習過程	時間(分)	学習活動	授業スナップ
導入	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめのあいさつをし、本時の学習のねらいについて、担任の先生の説明を聞く。 ○ 池田さんの自己紹介を聞く。 ○ 「海ってどんなところ？」という問いに対する自分なりの考えをワークシートに記入し、互いに発表し合う。 <p style="text-align: center;">海ってどんなところ？ 自分の知っていることを書いてみよう。</p> <p style="text-align: center;">とても深くて、泳ぐことができるところ。</p> <p style="text-align: center;">生き物がたくさんいるところ。</p>	 
展開	25	<ul style="list-style-type: none"> ○ 池田さんの、「海のふしぎ」についてのお話を聞く。児童とのやりとりやクイズ等を取り入れながら、興味をもたせる工夫をする。 <p style="text-align: center;">海の水はどこからくるのかな？ 海の深さってどれくらいだろう。 海の水がしょっぱいのはなぜ？ どうして、海って青く見えるの？ 「波」はどうやってできるのかな？</p>	

	<p>○ 自分たちの校区にある海岸に目を向けさせ、それぞれの海岸に特徴があることに気付かせる。</p> <p>ここは、映画「めがね」の撮影地となった寺崎海岸、そしてここは、那間小のみんなが遠泳大会をする船倉海岸だね。</p> <p>○ 5つの海岸の砂浜から採取した砂を見比べ、一つだけ色の違う砂があることに着目させる。</p> <p>一つだけ少し暗い色の砂があるね。どこの海岸の砂だろう。そして、どうしてこの砂浜だけ、砂の色が違うんだろう。</p> <p>少し黒いから、<u>黒花海岸</u>かな。</p> <p>皆田海岸の砂浜がこんな色だったと思うよ。</p> <p>○ 雨が降ると高台の赤土がこの海岸の砂浜に流れ込むために、この海岸の砂は他の砂浜よりも少し暗い色になっているということを知る。</p>	  
<p>まとめ</p>	<p>10</p> <p>○ 「海のふしぎ」についてのお話から分かったことをワークシートにまとめ、発表し合う。</p> <p>リーフの中と外では海の深さが全然ちがうんだな。与論の海がエメラルドグリーンに見えるのは、白い砂浜が海の中まで続いているからなんだ。</p> <p>○ 終わりのあいさつをする。</p>	

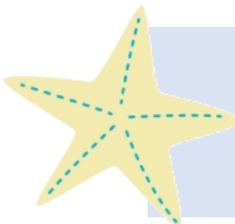


※ 本授業後に、池田さんと海老原先生も参加して、「『海の生き物』いす取りゲーム」や「生き物のつながりゲーム」をして楽しみました。このコーナーも、子供たちにとって、とてもよい学びの機会になりました。

子供たちの感想から

「(略)これまで海のことはあまり考えたことがなかったです。いちばんびっくりしたのは『海がなぜ青いか』です。」

「海の深さや色のことを、べんきょうして初めて知ったのでうれしかったです。」



本授業で高まったと考えられる資質・能力

- 情報収集・判断
- 対話
- 問題解決
- 持続的利用
- 感動
- 関係
- 主体
- 継続